

① 2018年末の子育て世帯の大掃除実態

- ・子育て世帯の2018年末の大掃除実施率は64.5%。結婚や出産を機に衛生意識が高まり実施率も向上。
- ・1日あたりの掃除時間は短縮する分、日数は「2日以上」に分散して実施。

子育て世帯の2018年末の大掃除実施率は64.5%で、全体(55.9%)よりも約8ポイント高い結果となりました。特に女性(65.6%)は高い結果となり、結婚や出産を機に衛生意識が高まり掃除に積極的に取り組むようになることが推測されます。

また、子育て世帯の女性が大掃除にかけたトータル時間は「4時間以上6時間未満」(25.2%)と、全体(24.6%)と同水準でしたが、1日あたりの平均大掃除時間では全体よりも短い「1時間以上2時間未満」(28.0%)が最も多く、大掃除に費やした日数についても最も多く挙げられたのは「3日」(28.1%)でした。これらの結果から、**子育て世帯の女性は大掃除時間を十分に確保するため、1日の掃除時間を短縮し、その分複数日に分散して行っている**ことが分かりました。

図1：2018年末の子育て世帯の大掃除実施率

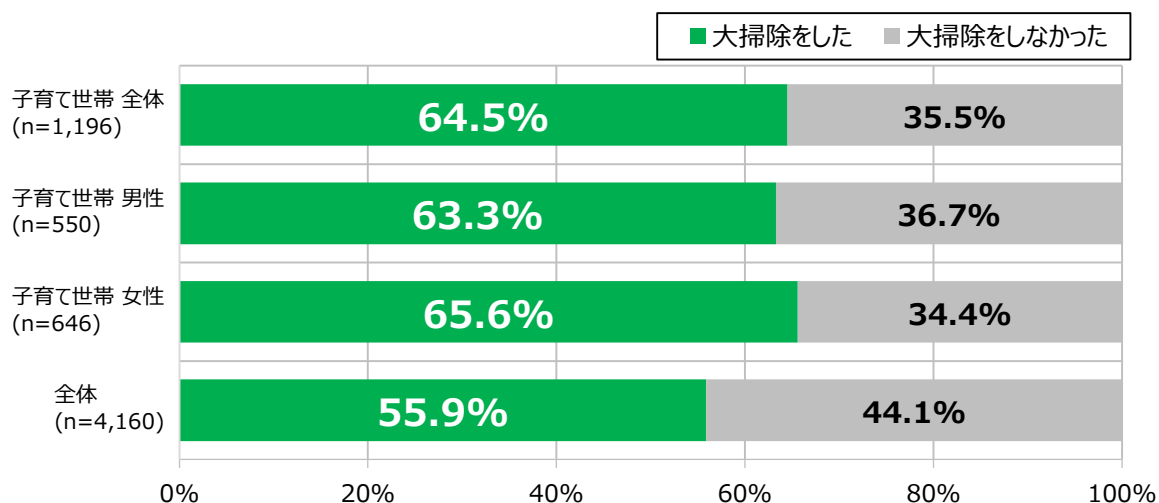
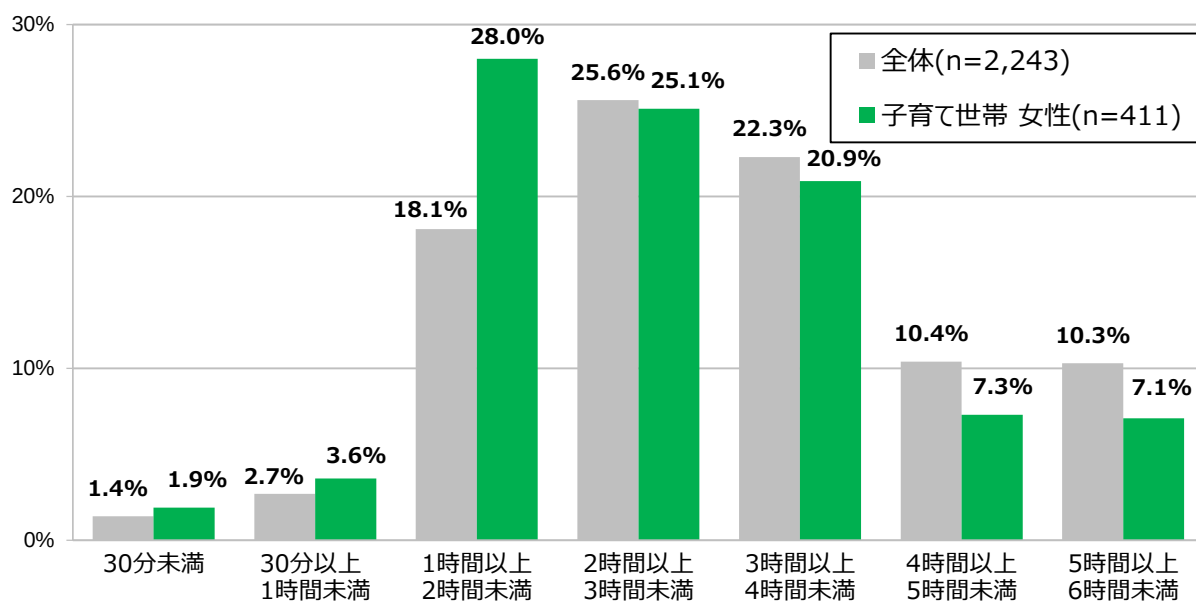


図2：1日あたりの平均大掃除時間（30分～6時間）



② 配偶者の大掃除に対する満足度

- ・妻から夫への評価は、夫から妻への評価よりも約25ポイントダウン！
- ・夫は、妻が求める“家族が出来ない場所”の大掃除に、積極的に取り組むべし！

2018年末の大掃除で、子育て世帯が掃除した場所を男女別に上位5ヶ所ずつ見てみると、夫だけが担当したのは「浴室」「窓・網戸」、妻だけが担当したのは「キッチン」「洗面所」が挙げられ、夫婦で分担して大掃除に取り組んでいる様子がうかがえます。

配偶者の大掃除の取り組みに対する満足度を聞いたところ、**夫の妻への満足度が87.8%**だったのに対し、**妻の夫への満足度は61.9%**と、**夫婦間で約25ポイントの開き**がありました。また、満足した理由の1位と2位は夫婦で同じ結果でしたが、3位以降は夫は“時間配分”や“手際の良さ”を求める一方、妻は“自分や他の家族では難しい場所を担当してくれた”ことを評価のポイントにっていました。

ぜひ2019年末の大掃除では、満足度の開きを解消するべく、夫は積極的な姿勢で参加することを前提に、他の家族ができない場所の大掃除に取り組んでみてはいかがでしょうか。

図3：大掃除を担当した場所(上位5ヶ所)

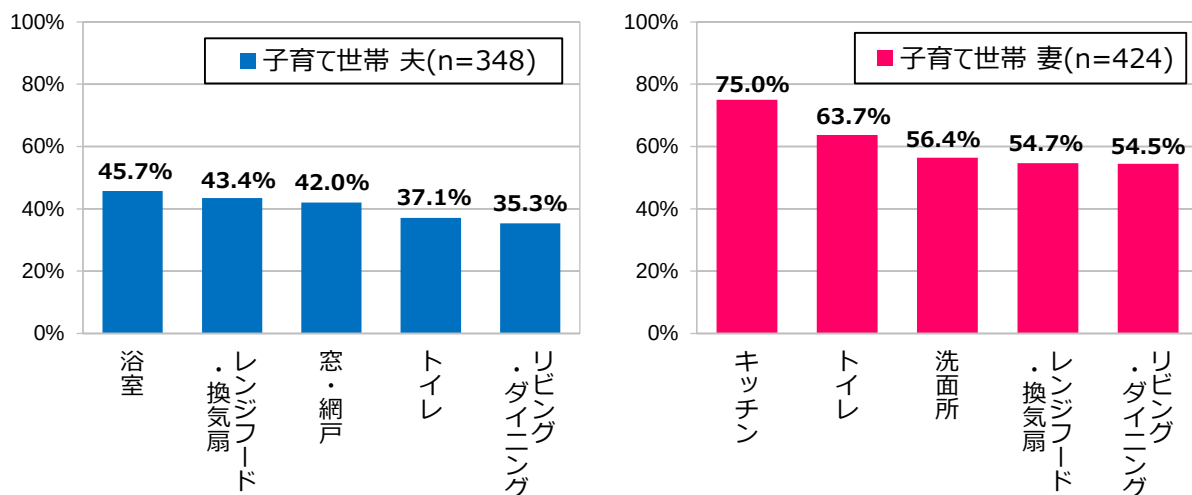


図4：大掃除の配偶者の取り組みに関する満足度

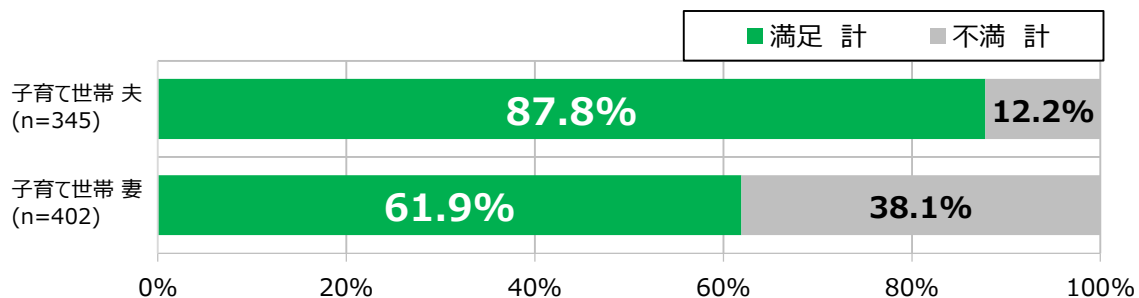
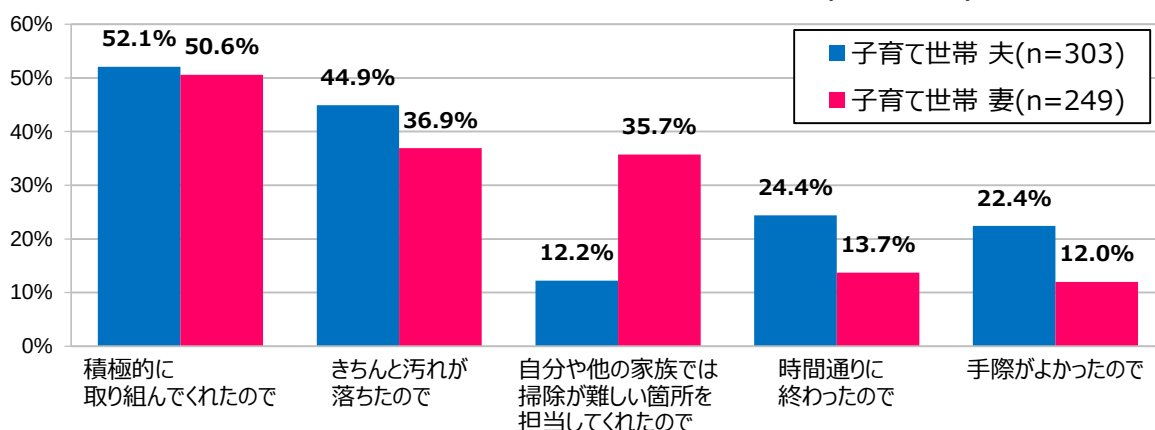


図5：大掃除の配偶者の取り組みに満足した理由(上位5項目)



③ 子どもの大掃除参加実態

- ・子どもの大掃除参加率は、小学生、中学生の約半数、高校生の約35%。
- ・「リビング・ダイニング」「窓・網戸」「玄関」は子どもに大掃除を任せてみては？

子育て世帯の大掃除では、子どもも大きな戦力といえます。**2018年末の大掃除では、小学生と中学生は約半数が、高校生は約35%が参加**していました。

また、子どもが担当した掃除場所は、小学生から高校生まで上位3ヶ所が同じ場所で「リビング・ダイニング」「窓・網戸」「玄関」が挙げられました。

これらの場所は、子ども自身もよく使う場所であり、掃除手順も比較的簡単で強い洗剤を使わなくても掃除ができるため、子どもが担当する掃除場所として大変オススメです。

ぜひ参考にいただき、大掃除を家族みんなで楽しく行いましょう。

図6：子供の大掃除参加率

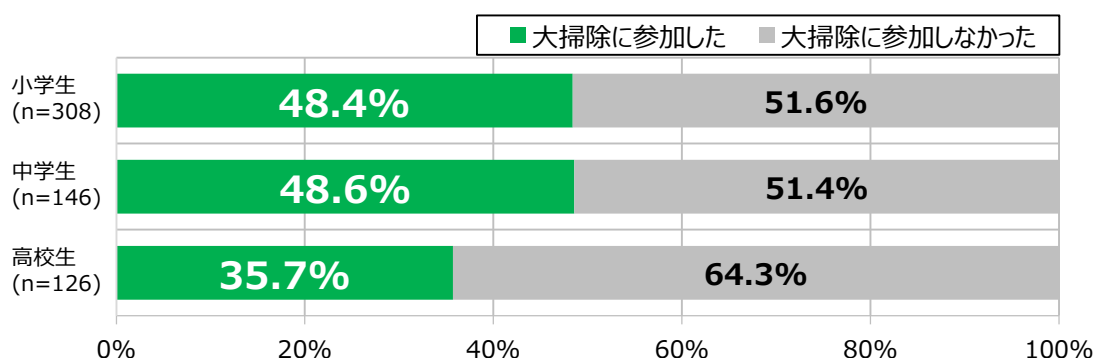
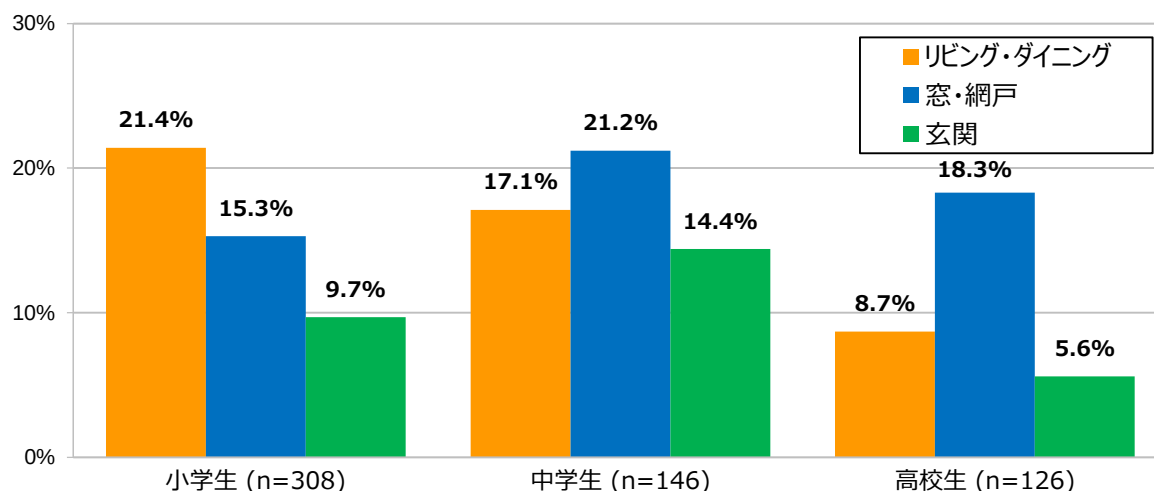


図7：子どもの大掃除担当場所(上位3カ所)



【 調 査 概 要 】

- 調査目的 : 2018年末の大掃除についての意識・実態把握
- 調査対象 : 20歳以上の男女
- 調査地域 : 全国(エリア区分：北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州)
- 調査方法 : インターネットリサーチ
- 調査時期 : 2019年1月25日(金)～1月26日(土)
- サンプル数 : 4,160サンプル〔うち高校生以下の子どもがいる1,196人〕
※全データに対してn数30未満のものは参考値として記載